

## 1. 昨年度における大災害の状況

昨年は、1月に熊本地方地震（震度6弱）、2月に胆振地方中東部地震（震度6弱）、6月に山形県沖地震（震度6弱）と前半は地震の発生でそれぞれの地域で被害を受けました。さらに、7月には梅雨前線と台風5号による大雨（西日本中心に）、8月の九州（長崎、佐賀、福岡）での大雨、9月には岡山、三重の大雨に続く、関東中心に台風15号、沖縄・九州・西日本に台風17号、10月には台風19号により静岡県、関東甲信地方、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨、非常に強い風、高潮が。結果、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県内の計308市区町村に災害救助法の適用される状況に。北は岩手県から南は静岡県まで14都県121の災害ボランティアセンター（一部平常体制で）が開設・運営されました。

## 2. 川崎市、相模原市で神奈川県内初の災害ボランティアセンター開設

神奈川県内では川崎市、相模原市で初めて災害ボランティアセンターが開設、運営されることとなりました。

## 3. 令和元年度 泉区災害ボランティア連絡会活動の特徴

（1）各被災地での支援活動・災害ボランティアセンターの応援を通じて当経験・知識を持帰り共有。

横浜市金沢区、川崎市、相模原市緑区、栃木県鹿沼市、宮城県丸森町

（2）J-VOAD 講演・研修会、内閣府主催研修会、静岡県図上訓練等に参加し、その内容を共有。被災地・者の復旧活動は、公助・共助も含め各関係機関・団体との連携なくしては不可能なことを認識。

今後もこれらへの参加、体験の必要性を感じました。特に、災害ボランティアセンター運営には幅広い関係先との連携の必要性を確認。

（3）区内啓発活動

- ①連絡会総会には区内幅広い関係者が参加していただき、取組みへの理解が深まりました。
- ②区災害対策本部訓練の一環として災害ボランティアセンター運営の訓練を行いました。
- ③区災害連絡協議会及び地域防災拠点連絡会総会に参加し、相互連携の強化について共有しました。
- ④地区社協との連携の必要性を地区社会福祉協議会分科会で共有しました。
- ⑤区民祭り、防災フェア（旧深谷通信隊）に参加しました。
- ⑥地域防災拠点訓練参加しました。（緑園西、新橋、領家中）
- ⑦九都県市（伊勢原）、座間市、大和市、瀬谷区災害ボランティアセンターの各総合防災訓練に参加協力した会員により、その内容を役員間で共有しました。
- ⑧横浜災害ボランティアネットワーク、横浜災害ボランティアネットワーク A・C ブロック連絡会の各種イベントへの参加、協力しました。

#### 4. 令和元年度の取組み

月／日	事業内容
5/18	泉区災害ボランティア連絡会総会
6/14	横浜災害ボランティアネットワーク C ブロック会議開催（泉区幹事） テーマ「災害ボランティアセンター活用の各種様式の情報共有」
6/24	泉区地区社協福祉協議会分科会で、下記について説明し、相互連携の必要性を説明 テーマ「災害時における災害ボランティアセンターと地区社協とのかかわりについて」
6/27	横浜災害ボランティアネットワーク会議総会 研修：横浜市防災計画（「風水害等対策編」の修正について）
7/23	サマースクールへ体験講座の講師として参加 テーマ：サバイバル飯を食べよう
7/30	サマースクールへ体験講座の講師として参加 テーマ：QQ隊に入隊しよう
9/5	泉区災害対策本部主催訓練（災害時の情報連絡と対応訓練）
10/26	横浜災害ボランティアネットワーク A ブロック会議 SNS ツイッターを利用した情報システム研修会に参加
11/1	「泉区災害ボランティア通信」を発行
11/3	区民ふれあい祭りに参加し、区内防災活動組織・団体と連携し、防災減災の啓発活動実施 災害時に備え障がい理解に関する啓発活動実施
11/16	泉区防災フェア（旧深谷通信所で）で防災啓発「おうちの防災グッズはなあに」
11/16	横浜災害ボランティアネットワーク C ブロック会議（瀬谷区幹事） ①西日本豪雨災害と最近のボランティア活動について 講師：横浜災害ボランティアネットワーク会議会議 河西会長、 ②台風 19 号時の状況（避難者 300 名）・境川以外の河川の状況の共有 ③各区の状況報告
11/21	台風 19 号災害義援金「街頭募金 in 桜木町」に参加しました。「横浜市社協福祉ボランティア・市民活動部会」と「横浜災害ボランティアネットワーク会議」のメンバーと市社協職員が参加。当日の募金額 43,078 円は神奈川県共同募金会に送金されました。
12/11	障がい団体が主催するシンポジウムにて葛野小学校地域防災拠点委員（当会員 2 名含む）が「災害時に備えた障がい者支援と地域での取り組み」を発表
1/25	瀬谷区ボランティアネットワークの災害ボランティアセンター開設・運営訓練応援
2/22	中田中学校地域防災拠点防災セミナー講師派遣依頼【新型コロナウイルスの影響により中止】
2/28	第 33 回泉区社会福祉大会にて泉区災害ボランティア連絡会がボランティア活動功労を受賞 【なお、式典は、新型コロナウイルスの影響により中止】
3/1	「泉区災害ボランティア通信」を発行

◆泉区災害ボランティア連絡会運営委員会・・・毎月第 1 水曜日開催

◆横浜災害ボランティアネットワーク会議運営委員会・実行委員会・・・各月交互開催

この他に、各会員が以下のとおり被災地への応援や全国での訓練等取組みに参加し、そこでの情報等を共有しています。

8/31	第40回九都県市合同防災訓練[ビッグレスキュー2019(神奈川県・伊勢原市合同)]に参加
9/8	座間市総合防災訓練に参加
9/21	台風15号災害「横浜市金沢区工業団地」へ復旧支援活動に参加
10/27	川崎の台風19号で水害に伴い災害ボランティアセンターへ応援
11/10	台風19号相模原市緑区青山地区の被災地支援活動に参加
11/14	横浜災害ボランティアネットワークの地域支援活動(ボラバス)に参加 活動場所: 栃木県鹿沼市粕尾小学校
12/3	内閣府主催研修会へ参加。災害時における①行政、②社会福祉協議会、③地域の団体・NPO・企業等の三者の連携の必要性に関する研修。内閣府は各都道府県で順次実施。神奈川県では初の研修会。
12/21, 22	台風19号で被害復旧が進まず苦労している宮城県丸森町へ支援活動に参加
1/16	大和市防災フェアで防災啓発活動応援
2/21-22	静岡県図上訓練(災害ボランティアセンター運営における課題対応)に参加

## 5. 来年度に向けての課題

- (1) 当連絡会のメンバー拡充のための更なる取組
- (2) 外部の講座、研修会、訓練等による自己啓発
- (3) 災害ボランティアセンター開設・運営のためのICT化(情報通信技術の活用)

## 6. 情報発信

泉区災害ボランティア連絡会では、ホームページ及びFacebookを活用し、活動の様子等を情報発信しています。是非、ご覧ください。

ホームページ: <http://disas.shakyo-iy.or.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/izumi.saivora.net/>